

日本風景街道だより

2015年秋 Vol. 34

日本風景街道大学 白川郷・五箇山校 参加報告

11月6日、7日の2日間にわたり、「日本風景街道大学 白川郷・五箇山校」が、トヨタ白川郷自然学校(岐阜県 白川村)と五箇山合掌の里(富山県 南砺市)にて開催されました。今回の風景街道大学では、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」世界遺産登録20周年を機会に、「日本風景街道」と「世界遺産・ジオパーク・日本遺産」との関係や役割を話し合う場として開催されました。

1. 全体会報告(1日目 トヨタ白川郷自然学校)

(1) 開催地報告

「世界遺産登録20周年の歩みと地域連携」をテーマに、「合掌・さくら」飛越街道協議会 和田 正人氏より、合掌造り集落を保全するための取組について発表がありました。

「合掌・さくら」飛越街道協議会では、①住民(場や世代をこえて)、②行政、③有識者とのつながりといった、『結(つながり・きずな)』をキーワードに活動を行っていることや、『売らない・貸さない・こわさない』の3原則をキーワードに、「三原則の文章・精神の継承」、「伝建物のこわさないは完全厳守」、「特例措置は必ず守る会に相談」、「新たな居住者は同じ住民として貢献」、「必要に応じ特別委員会を設置」、「世界遺産である萩町集落の将来によって最良の指針・解決を目指す努力」に取り組んでいることについて報告がありました。

また、合掌造り単体ではなく、地域全体の自然環境を守る住民憲章として、地域全体に対し、「自然環境をまもるために」、「合掌家屋を守るために」、「風習を守るために」の3つのテーマについて確認しあい、実行していると報告がありました。



和田 正人氏による開催地報告



全体会の様子

(2) 全国事例報告 I

「世界遺産と日本風景街道」をテーマとして、世界遺産である「富士山」と「知床」の地域における地域住民と協働した取組事例について報告がありました。(座長:田中 孝治氏 NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事)

報告内容	話題提供者	概要
世界遺産「富士山」と「ぐるり・富士山風景街道」	青木 直子 氏 認定 NPO 法人富士山クラブ	「美しい富士山を子供達に残していく、富士山の自然環境の保護、保全、再生のための富士山全域での活動」について、地域一体となった清掃活動等に関する紹介
「知床」と東オホーツクシーニックバイウエイ	桜井 あけみ 氏 東オホーツクシーニックバイウエイ連絡会副会長	「網走」、「ウトロ」、「清里」の3地域による活動として、地域住民との連携による“雪かき”イベント“や”地域独自の観光情報”、“ヒヤリハット情報”等の独自調査について紹介

(3) 全国事例報告Ⅱ

「ジオパークと日本風景街道」をテーマとして、世界ジオパークに認定されている“糸魚川”と“洞爺湖有珠山”の地域における取組事例について報告がありました。(座長:原 文宏氏 NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事)

報告内容	話題提供者	概要
「糸魚川」と北アルプス展望 最長最古の塩の道ルート日本 風景街道「枝垂れ桜の咲く里 への帰り道」	米田 徹 氏 糸魚川市市長	「環境保全:時代への地質・自然・文化など地域資源の継承」「郷土愛の育成:郷土を愛し、誇りに思う気持ちの熟成」「地域振興:ツーリズム等による交流人口拡大と活性化」に関する取組について紹介
世界ジオパーク「洞爺湖有珠山」と「支笏洞爺ニセコルート」	三松 靖志 氏 シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート事務局 長	学びと伝えの実践者を育成するための「火山マイスター制度」、ジオパークを保全していくための官民連携で清掃活動(1008 453(とうや よごさん)キャンペーン)等について紹介

(4) 全国事例報告総括

1 日目の最後には、全体のまとめとして、NPO法人日本風景街道コミュニティ代表理事 石田 東生氏から、世界遺産などを伝承、保全していくためには「地域の人を巻き込み地域の中でシステムを構築していくことが重要であり、また「人には心の中にその人なりの世界遺産を持っており、それを地域の主体的な取組によって形にしていくことが重要」であるといったコメントがありました。また、国土交通省道路局環境安全課 高松室長から、ミッシングリンクの解消による広域観光周遊の促進や「道の駅」との連携強化について、国土交通省としても地域と連携したマネジメントを推進して、風景街道が安定的に長く活動できる場を作っていきたいとコメントがありました。



石田 東生氏による総括

2. 分科会報告 (2 日目 五箇山合掌の里)

2 日目は、富山県南砺市の五箇山合掌の郷に移動し4つのテーマによる分科会を実施しました。

分科会テーマ	座長	概要
世界遺産・ジオパーク・日本遺産と日本風景街道	田中 孝治 氏 NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事	世界遺産等を通じた風景街道の保全、活用の在り方等について意見交換 元本を守り、増やしていく後世に伝えていく「保存と活用」等について議論
日本風景街道と「道の駅」の関係	山内 秀彦 氏 NPO 法人地域づくりサポートネット代表理事	「道の駅」を地域のゲートウェイにするための活動に関する発表や意見交換 日常の活動を磨き上げ地域独自の魅力を構築していく重要性について議論
日本風景街道と急がない旅	佐藤 雄一 氏 静岡県サイクルツーリズム協議会事務局長	歩く・自転車の各ツーリズムを通じて「急がない旅 エコツーリズム」としての意見交換 ガイドの重要性、観光客に対するお金の落とし所の構築について議論
広域連携と二次交通	山口 誠 氏 世界遺産合掌街道実行委員会事務局長	ゲスト等からの要望により「雪国観光圏に関する取組」に関する意見交換会に変更



分科会会場



分科会の様子

3. 現地ワークショップ

五箇山に伝承される民謡(無形文化財)の鑑賞、地元の「語り部」と世界遺産である菅沼集落周辺を回遊するワークショップを実施した。



伝統芸能の継承



語り部による合掌造りの説明

日本風景街道意見交換会 発表事例紹介

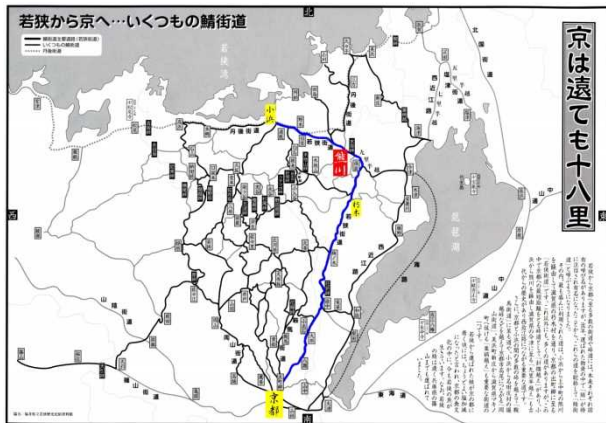
国土交通省では、日本風景街道の活動の更なる発展を図るため、各ルートが抱える共通課題や対応方針等について話し合う「意見交換会」を開催していますが、今回は、行政機関の担当者を対象として「道路管理者・行政としての日本風景街道の取り組み」をテーマとして平成27年1月28日(水)に開催しました。若狭町より発表のあった「若狭町鯖街道熊川宿のまちづくりからのまちなみ保全、景観向上」について紹介します。

発表概要

(1) 地域の概要

1) 鯖街道

鯖街道は古より、京都と若狭湾を結ぶ街道で、江戸時代には1日1,000頭の牛馬が行き交ったと言われています。鯖が重要な食材である地域で、かの北大路魯山人に「さばを語らんとするものは、とかくも若狭春秋のさばの味を知らねば、さばを論じるわけにはいかない」と言わしめており、このような言葉がもととなり、昭和の中頃から京への道「若狭街道」は「鯖街道」と呼ばれるようになりました。風景街道には「若狭熊川・鯖街道」として、熊川宿沿線の約1.4kmが登録されています。



鯖街道の地図



日本風景街道「若狭熊川・鯖街道」の地図

2) 熊川宿

熊川宿は福井県の南西部、滋賀県境に位置しています。熊川は、もともと戸数40ほどの小さな寒村であったという事ですが、室町時代に、戦略上の要地として足利將軍直屬の武士、沼田氏が山城を構えたところであり、今もその遺構を確認する事が出来ます。さらに戦国時代に浅野長吉(長政)が、小浜城主になった時に交通・軍事の要衝として、この地の発展を図り、以来、若狭代々の領主は、この政策を受け継ぎ熊川は江戸時代を通じて近江国境に接する宿場町として大いに繁栄していきました。江戸時代初期から中期にかけては、熊川宿の戸数は200戸を超えていたようですが、現在は100戸ほどになっています。



熊川宿 上ノ町の風景

(2) 重要伝統的建造物群保存地区の登録

- ・昭和 50 年、新たな文化財制度として、「重要伝統的建造物群保存地区(以下、重伝建)」が開始され、熊川宿も登録を目指して調査を実施しました。
- ・昭和 57 年、地域の建造物についてまとめた「若狭街道の宿場熊川」の報告書を作成しましたが、調査が行政主導で進められたこともあり、重伝建への登録に関して、住民側の機運は高まりませんでした。
- ・昭和 60 年、日本ナショナルトラストによる調査が熊川宿で実施され、東京大学の西村教授が、地域の子供たちを巻き込んだ調査を実施し、それをきっかけとして、様々な取組が再び開始されました。
- ・平成 5 年、地域のシンボリックな建築物である「旧逸見勘兵衛家(伊藤忠商事二代社長 竹之助翁の生家)」を修復するために、住民が立ち上がりました。修復にあたり、「古き町屋に新しく住まう」をテーマとして掲げ、歴史的な外観を保存しつつも内部を現代的で快適なつくりとすることで、伝統と現代の生活を共存させました。この取組では、修復の取組を行政と住民とで協働して行ったことにより、保存だけではなく、まちづくりをやろうという機運が地域として高まりました。
- ・その後、教育委員会だけではなく、企画部局、建設部局、住民が一体となって、まちづくりの検討を行い、平成 7 年 3 月に「熊川まちづくりマスタープラン」を制定し、平成 8 年 3 月に「鯖街道・熊川宿総合整備計画」を策定しました。その結果、平成 8 年 7 月 28 日に重伝建、歴史国道、水の郷に選定されました。



西村教授による調査



若狭街道の宿場熊川(昭和 57 年 3 月)



修復前の旧逸見勘兵衛家(昭和 60 年)



修復後の旧逸見勘兵衛家(平成 16 年)



修復後の旧逸見勘兵衛家内部

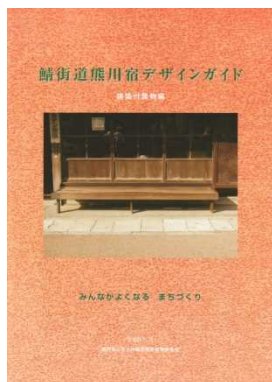


(3) 取組内容

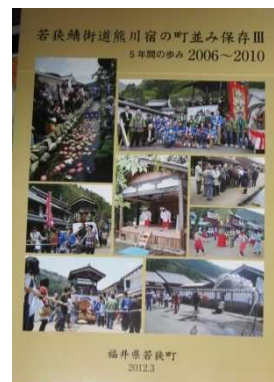
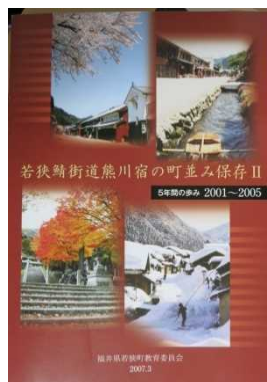
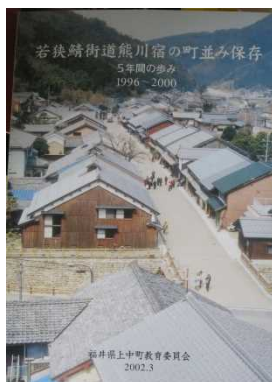
① 伝統技術による修復

伝統的建造物を修復・保存していくためには、地域の理解と共に、技術者の手腕が不可欠です。平成10年、熊川宿町並み保存伝統技術研究会が発足し、伝統技術を後世に伝えていくために、研究やデザインガイドの発行を行っています。

また、歴史的建造物を伝統技術によりどのように修復したのかを図面や写真等で記録するため、5年ごとに「若狭鯖街道熊川宿の町並み保存」として報告書を作成しています。



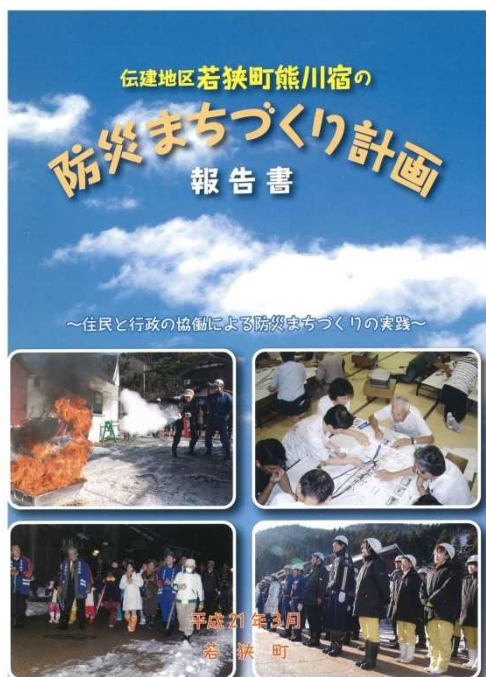
鯖街道熊川宿デザインガイド



若狭熊川宿の町並み保存(5年ごとに発行)

② 防災まちづくり

熊川宿は風の通り道となっており一度火災が起きてしまうと全体が燃えてしまうという懸念があることから、歴史的町並みと暮らしを災害から守るために、平成20年度より、まちづくりの中で防災について考えていくために「防災まちづくり」の活動を開始しました。平成21年、熊川区自主防災会を設立し、地域の防災意識向上を図るため、防災まちづくりシンポジウムの開催、防災訓練、近隣火災通報システム(両隣や向かいの民家と互いに設置した報知器が無線で連動し、火災発生時にいち早く知らせる仕組み)の整備などの活動を実施しました。これらの取組は、平成23年3月に「防災まちづくり大賞受賞(総務大臣賞)」を受賞しています。



防災まちづくり計画報告書



シンポジウムの開催



ワークショップの実施



防災訓練の実施

③景観整備

景観整備として、通常の舗装道路から地道風の舗装への改修、無電柱化・セットバック、前川法面石積護岸、かわと(洗い場)の石積復元、排水溝石蓋整備を実施しました。工事にあたり、資材置き場の目隠しボードへお絵かきをするなど、工事中の景観に配慮をする工夫にも取り組みました。



a) 前川法面石積護岸の整備

街中を流れる前川のコンクリート護岸を石積護岸に復元しました。地元で井戸水の利用が多いことに配慮し、川底から水が浸透するように配慮した整備を行っています。



石積護岸工事の様子



石積護岸の復元

b) 地道風舗装への改修

街道は町並みにあわせて排水性地道風舗装、無電柱化の整備を行いました。熊川宿は豪雪地帯でもあるため、冬期の降雪に備え、融雪装置も整備しています。



地道風舗装工事の様子



無電柱化工事の様子



整備前の様子(昭和60年)



整備後の様子(平成20年)

④多彩なまちづくりの取組

まちづくりについては、町並み保存活動のみではなく、熊川宿街道周辺の清掃、熊川葛の復興、てっせんおどり、ブータン王国との交流など、地元の人たちがそれぞれの得意な事を活かしつつ様々なまちづくりを展開しています。

a) 熊川宿 街道周辺の清掃

住民を含めた、歴史的な景観の維持管理の活動として、熊川宿内の街道沿いの前川水路清掃をはじめ、熊川宿周辺の国道303号や熊川宿内の街道のゴミ拾いを実施しています。



前川水路の清掃



白石神社境内の清掃

b) 熊川葛の復興

平成23年、継承が危ぶまれる「熊川葛」を復興するため、有志が立ち上がりました。近くの山で葛根を掘り、20数回の寒晒し作業をへて、純白の「熊川本葛」を作り上げました。



熊川葛の復興

c) てっせんおどり

熊川音頭、白石神社祭礼などの伝統行事を継承し、平成9年に京都「一乗寺郷土芸能保存会」との交流を始め、平成10年には80年間途絶えていた「てっせん踊り」という郷土芸能を復活させる事ができました。これを契機に「熊川宿伝統芸能保存会」が誕生しました。

平成14年には、テキスト『若狭熊川宿の伝統芸能』を作成し、40年ぶりに白石神社の祭礼の山車と見送幕も復元されました。



てっせんおどり

d) ブータン王国との交流

歴史的な建造物を保存していくことをテーマとして、平成16年度の夏と冬の2回、ブータン王国との文化交流会を実施しました。この時は、ブータンの優秀な若者たちが「世界に一つ、世界は一つ」をテーマに発表を行い、個性を深く極めていくことで普遍性、世界性を獲得していけることが実感できた交流会となりました。



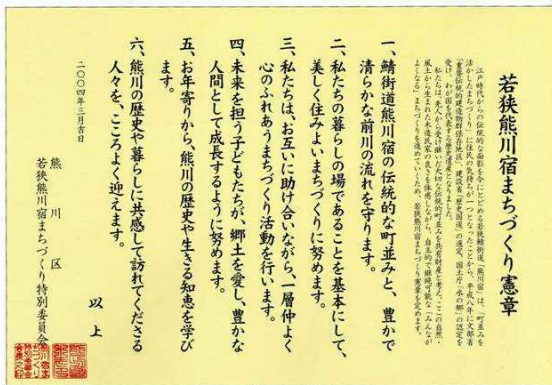
ブータン王国との交流

e) 「まちづくり憲章」「まちづくり申し合わせ事項」

熊川宿の住民だけではなく、観光客等を含めたみんなが快適に過ごすために、平成15年度に「まちづくり憲章」や「まちづくり申し合わせ事項」を定め、きれいな景観の維持やまちづくりに努めています。

f) 若狭町 環境・芸術・文化振興ビジョン

平成17年に市町村合併がありました。熊川郡、三方郡とで、群域を越えて合併したという経緯もあり、なかなか一つの町になりづらいということもありましたが、文化を起点としてまちづくりを行うことになり、「若狭町 環境・芸術・文化振興ビジョン」を平成20年に策定しました。策定にあたっては、各集落の文化遺産について、住民が執筆して掲載するといった取組を実施しました。



若狭熊川宿まちづくり憲章



若狭町 環境・芸術・文化振興ビジョン

(4) 最後に

平成8年の旧建設省、文化庁の「文化遺産を生かしたモデル地域づくり」や、平成20年の文化庁の「文化財総合把握モデル事業」などに取り組んできました。現在は、文化遺産というような動きもあることから、文化を生かしたまちづくりになる活動にはすべて喰らいついていくという意識で取り組んでいます。

まちづくりには交通、経済、文化の3点が重要であると考えています。今後も、ここ熊川の古き伝統的町並みに住み続けながら、多面的活性化を招来すべく、熊川住民の皆さんと行政の協働により、町並みの保存と活用を進めてまいりたいと思います。

シリーズ：各地域の風景街道の取り組み

ルート名：千曲川・花の里山風景街道



里山に囲まれた飯山盆地

1. ルート概要

ゆるやかに流れる千曲川と里山、農村の風景が織りなす景観が「日本のふるさと」を思わせる北信州エリア。千曲川に沿って飯山盆地を縦貫する国道117号を軸に、中野市、飯山市、野沢温泉村、栄村の2市2村をエリアに活動を展開しています。

住民らが植えた折々の花の帯で彩られる117号沿道。春には菜の花で一面黄色く染まる菜の花公園や千曲川河川敷。平成27年1月に国の重要文化的景観に選定された「小菅の里及び小菅山」を中心に美しい棚田や里山の風景も住民の力と汗で維持されています。信越県境の関田山脈にボランティアの力で切り開かれた「信越トレイル」は、ブナ林をはじめ北信州の豊かな自然に触れることができる延長80kmのトレッキングルート。この他にも寺町の風情、富倉そばや笹寿司、野沢菜漬けといった特徴的な郷土食もあり、こうした地域資源を活かした魅力ある地域づくりにも取り組んでいます。

2. 活動目的・実施体制

地域が全国に誇る里山の風景や沿道の花々によって彩られる「花街道(国道 117 号)」を中心に、美しい景観、豊かな自然を観光資源とした地域づくりとともに日本のふるさとを想わせる道路空間を創出します。具体的には交流拠点としての「道の駅」の有効活用、千曲川周辺の前風景を活かした景観づくり、にぎわいのある美しい道路空間の形成です。同時に国道 117 号を主軸とした広域的な観光地域を広くPRすることも目的としています。

この目的のため、魅力ある北信州の観光地域づくりを実践している個々の団体がより強固に連携し、活動が実施できる体制として「北信州みちづくりパートナーシップ」を組織化し、連携しています。

3. 活動状況

地域内は下記 3 つのエリアから構成されており、国道 117 号を中心とし、そこに繋がる一般県道や主要地方道、市街中心部(飯山市愛宕町)の歴史資源や新潟県境の里山も含んでいます。

〔 エリア A 〕

南北を縦断する国道 117 号(主軸)

〔 エリア B 〕

117 号の東西に広がるエリア

県道 38 号、北竜湖、小菅(修験の里)、福島棚田

〔 エリア C 〕

長野・新潟をまたぐ峠道

(信越トレイルなど)

● エリア A
 エリアの南北を縦断する国道 117 号では、4 月下旬～10 月までのあいだ「花街道(約 10 km)」の名にふさわしく、沿道が、さまざまな花々によって飾られる。
 ◆春 : 菜の花・桜並木の花々と残雪の山々と新緑の草木が良好な景観を醸し出す。
 ◆夏・秋 : 鮮やかな色彩を醸し出す花々によって美しい街道が形成される。



フラワーロード(国道 117 号)

● エリア B
 千曲川のほとりに咲く菜の花が目にも鮮やかで、県道 38 号沿いにある菜の花公園には、5 月初め、菜の花が咲く時期には 10 万人を超える来訪がある。
 エリアの奥には、北竜湖・小菅(修験の里)、福島棚田といった日本の原風景をのぞむことができる。




菜の花公園
福島棚田

● エリア C
 長野・新潟をまたぐ峠道が「健康」「交流」「観光」の場(=散策道:ロングトレイル 50 km)として平成 17 年に整備され、そこでは、自然豊かな里山の風景や動植物と触れ合うことができる。
 なお、エリア内は、県道 411 号、409 号が通っている。




散策道(ロングトレイル)
里山風景



凡 例	
メインルート	
南進ルート	
道の駅	
距離メリア	

特に平成 25 年度以降は、北陸新幹線飯山駅開業に向けた景観形成を推進しており、飯山市では、活動エリアの 1 つである駅周辺及び市街中心部の景観形成を推進することにより、新幹線駅から千曲川・花の里山風景街道の中心となる国道 117 号につながる道路空間を演出し、風景街道がより魅力的になるよう各種事業に取り組んでいます(北陸新幹線は今年 3 月 14 日に開業しました)。

(1) 花で彩る道づくり事業 「北信州発」情報発信推進事業

① 花の植栽・植樹活動を中心に景観整備の継続

● 『菜の花公園、フラワーロード』

当該地域では、ボランティア活動による花の植栽が盛んに行われており、菜の花公園を中心とする菜の花の取組や、国道117号沿いの住民参加型の植栽が継続的に行われています。



菜の花公園



117号沿いのフラワーロード

● 『～市民みんなでおもてなし～ 咲かせよう菜の花プロジェクト』

特に平成26年度は、北陸新幹線飯山駅の開業日に合わせ、駅利用者に対する菜の花によるおもてなしとして、市民3,200人が自宅で育てた菜の花プランター1,000基で新幹線駅舎内外をいっぱいにし、訪れる方をおもてなしの心で迎え入れました。

② 景観ポイント遊歩道、自転車道、駐車場、休憩所等の整備

● 『ビューポイントへのベンチ設置、散策・サイクリングマップ製作』

調査にてリストアップしたエリア内ビューポイントの中でも、休憩適地を中心に木製ベンチを10基設置しました。また、ビューポイントを歩いて回るためのパンフレットやサイクリングマップも作成しています。



木製ベンチ



サイクリングマップ

●『飯山市歩行者系まちなかサイン整備』

北陸新幹線飯山駅開業を契機としたまちなか観光を推進するため、まちなかを「歩く観光客」、市街地を訪れる「市民」にとって、分かりやすい案内標識を再整備することにより、回遊性のあるまちづくりの促進をめざしている。平成25年度からの継続事業として、市街地に新たに統一デザインの看板を設置しました。

③ 地域ボランティアの協力による清掃活動の実施。

■主な活動団体 花咲く会(小沼地区)信州菜の花地域ウェルカムプラン策定調査委員会
飯山市桜づつみ・飯山市フラワーロード(飯山市、市民団体)、道路管理者、河川管理者

(2) 「北信州発」情報発信推進事業

① 3つの道の駅を拠点に、北信州の情報の共有と発信

●『道路情報の共有・提供、道の駅間のスタンプラリー』

3つの道の駅では、道路情報を相互に共有・発信したり、スタンプラリー等で連携を強めています。

●『外国人旅行者の市内誘導戦略に基づく、外国人目線調査』

平成26年度は、インバウンド利用推進に向けた外国人モニターツアーを実施しました。これは新幹線で飯山駅を訪れる外国人旅行者を想定し、飯山駅を出発し飯山市内を3時間程度で観光するツアーを行い、発信すべき観光コンテンツの魅力や、整備すべき受入環境等について確認するためのものです。

② 景観ロードマップの作成

エリア内の回遊性を高めるために、道の駅のほかエリア内拠点施設へのビューポイントマップを設置し、同じ内容のパンフを製作し配布しています。



ビューポイントマップ

③地元産特産物の販売、北信州産ブランド商品の研究 等

■主な活動団体 州菜の花地域ウェルカムプラン策定調査委員会
17号沿いの道の駅「花の駅・千曲川」「ふるさと豊田」「信越さかえ」

(3) その他

①自然景観に配慮した観光・景観スポット整備事業

(景観診断の実施／屋外広告物の縮小・規制／観光、景観スポットを示す道サインの設置)

●『景観阻害物調査』

良好な景観の形成に向け、当地域玄関口でもある上信越自動車道豊田飯山IC～北陸新幹線駅舎建設予定地周辺を重点的に「景観阻害物調査」を実施しました。各活動団体が参加し、バスで巡りながら調査を実施し意見をまとめました。



景観阻害物調査時の様子

②峠道の復元整備事業

(枝道・峠道の整備／自然・環境保護に関する啓発活動／ガバの育成／清掃活動の実施等)

●『信越トレイルによる誘客』

新潟県境を成す関田山脈に延びる延長80kmのトレッキングコースは、国内はもとより海外からの利用者が訪れるようになってきました。これらの利用者はトレッキングとエリア内観光を楽しまれる方も多く、道の駅や拠点施設にてマップ販売や情報提供を行っています。

■主な活動団体 NPO 法人信越トレイルクラブ、道路管理者

4. 今後の展望

当地域は寺町や雁木通り等の市街地、農村、自然、歴史など豊富な景観資源に恵まれており、これまで保全してきた景観に対する認識を一層深め、地域の特性に応じ、住環境、産業、観光などに反映した実効性のある景観づくりに繋がる活動を継続してゆきたいと考えています。

<執筆者> 「北信州みちづくりパートナーシップ」事務局

NPO法人信越トレイルクラブ 事務局長 高野賢一

日本風景街道は、現在、全国で136ルートが登録されています(平成27年11月末現在)

各風景街道の概要は、日本風景街道のウェブサイト(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。

北陸風景街道協議会

- 4-1 日本海パークライン
- 4-2 北アルプス大展望・最長最古の道の道ルート
- 4-3 金沢市下 聖地・弥生池 緑街道
- 4-4 奥能登半島景観街道
- 4-5 長興寺山 万葉の楽園の道
- 4-6 日本の原風景
「奥能登半島の奥へへの道の道」
- 4-7 飛騨交通の道・ノノベル北陸街道
- 4-8 よりのみち街道 [中尾]
- 4-9 越後妻籠山道 [中尾]
- 4-10 佐渡山道
- 4-11 白山景観街道

シーニックバイウェイ 北海道推進協議会

- 1-1 支笏管内シベコルート
- 1-2 大雪山・釧路ルート
- 1-3 東オホーツクシーニックバイウェイ
- 1-4 宗谷シーニックバイウェイ
- 1-5 釧路圏内・阿寒・釧路シーニックバイウェイ
- 1-6 函館・大沼・奥入瀬ルート
- 1-7 眺める大北オホーツクルート
- 1-8 十勝シーニックバイウェイ
～十勝野・山麓ルート
- 1-9 十勝シーニックバイウェイ
～トカプシベコルート
- 1-10 十勝シーニックバイウェイ
～オホシベコルート
- 1-11 札幌シーニックバイウェイ
～藻谷山麓・洞山麓ルート

中国地方風景街道協議会

- 7-1 R185ささぎみ海道
- 7-2 歴史街道「萩街道」
- 7-3 大内文化の景観
～「縁をたづねて祈りの道」
- 7-4 本州最南端の道「瀬波のクロスロード」
- 7-5 しまなみ海峡街道
- 7-6 大山隠岐歴史の道
- 7-7 瀬戸内海道 ～つなぐことミュージアム～
- 7-8 銀山街道・隠岐の道の道

東北風景街道協議会

- 2-1 のしろ白神の道
- 2-2 ぶくしま海沿いハッピーロード
- 2-3 みちのくおのき街道
- 2-4 管江温泉と遊覧の道
- 2-5 奥州街道と温泉の道
- 2-6 岩手山麓の歴史と温泉を「江戸の旅行記から感じる道」
- 2-7 磐梯街道
- 2-8 奥州街道 温泉街道
- 2-9 青森イベントランド
- 2-10 奥州の道
- 2-11 出羽の古道六十里街道
- 2-12 城下町あづま温泉街道
- 2-13 広野川せせらぎ街道
- 2-14 弘前まちの道
- 2-15 津軽の道・十三峠
- 2-16 釜石「旅のみち」
- 2-17 十和田奥入瀬温泉街道
- 2-18 奥州街道と温泉のみち
- 2-19 奥の山麓の道

九州風景街道推進協議会

- 9-1 日毎海岸きらめきライン
- 9-2 日豊海岸シーニック・バイウェイ
(蒲江・北九州大橋街道)
- 9-3 なまきサンセットロード
～橋をつなぐ歴史の道～
- 9-4 北九州おもてなしの「ゆっくりかいどう」
- 9-5 ちょっとよりのみち 唐津街道のみち
- 9-6 かじま温泉街道
- 9-7 玄界灘景観街道
- 9-8 九州歴史の道 やまなみバイウェイ
- 9-9 九州歴史の道 阿蘇くまもと道
- 9-10 「旅の国歴史公園」街道
～川・山・洞窟から自然の道へ～
- 9-11 みどりの里・耳利風景街道
- 9-12 別府温泉・国東半島への道
- 9-13 あまき温泉街道
- 9-14 薩摩半島の道

風景街道関東地方協議会

- 3-1 浅間・白根・志賀高原の道
- 3-2 千田川・花の里山景観街道
- 3-3 江戸・東京・みらいの道
- 3-4 「東京・迎撃区」
- 3-5 ルート299北の山麓の道
- 3-6 千歳から天空への道 「さと」周遊ルート
- 3-7 陸空から天空への道 日光街道
- 3-8 秋の陣の道
- 3-9 日本温泉街道298号
- 3-10 湖川リゾート
- 3-11 甲州街道 (王子・稲穂・藤野エリア)
- 3-12 南房総・花野街道
- 3-13 八ヶ岳山麓街道
- 3-14 東海街道 風景街道
- 3-15 歴史街道「ふるり大塚」(Slow Life in OSO)
- 3-16 ログビルチ 癒しの九十九里街道
- 3-17 谷川谷の道 (高尾と歴史の道)

四国風景街道協議会

- 8-1 いやし・ちてなし山街道
- 8-2 むすび平石の道
- 8-3 瀬戸内海街道
- 8-4 高松の道
- 8-5 土佐道中
- 8-6 四万かき
- 8-7 光の道
- 8-8 瀬戸内海街道
- 8-9 瀬戸内海街道
- 8-10 土佐の道
- 8-11 三好街道
- 8-12 オアシス
- 8-13 えひめ
- 8-14 土佐道中
- 8-15 うづら

風景街道中部地方協議会

- 5-1 日本温泉街道「伊勢美濃のみち」
- 5-2 くらり・富士山景観街道
- 5-3 ニッポンアルプスの道
- 5-4 新しさをかきとる道
- 5-5 こころの道
- 5-6 海と山
- 5-7 信州の道
- 5-8 古くから
- 5-9 「なごみの道」
- 5-10 浜名湖
- 5-11 美濃川
- 5-12 民谷
- 5-13 南信州
- 5-14 きらり
- 5-15 東海
- 5-16 信州
- 5-17 大井川
- 5-18 「合掌・さくら」
- 5-19 飛騨
- 5-20 下呂

近畿風景街道協議会

- 6-1 日本文化のクロスロード (橋本・下津)
- 6-2 新世紀
- 6-3 丹波
- 6-4 日本
- 6-5 日本
- 6-6 御所
- 6-7 中之島
- 6-8 若狭
- 6-9 若狭
- 6-10 だん
- 6-11 愛知
- 6-12 悠久
- 6-13 三河
- 6-14 信州
- 6-15 日本
- 6-16 日本
- 6-17 美山
- 6-18 ぶく
- 6-19 西の

沖縄地方風景街道協議会

- 10-1 琉球
- 10-2 やんば

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	佐藤 茂一	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	木村 恭一	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	西村 逸夫	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	増田 純夫	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	宮原 敏	052-953-8171 (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	高橋 祐史	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	榎 敦司	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	黒口 貴弘	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	松元 勝美	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	大城 照彦	098-866-1914 (内線 4353)

【ご意見をお寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8111(代表)(内線 38223) FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>